

平成 26 年 7 月 18 日
消 防 庁

防災カーテンの性能確保等

自主回収の対象となる防災カーテンの原反が 7 品あった（本年 2 月 5 日に公表）ことを踏まえ、防災カーテンの性能確保の方策について取りまとめましたので公表します。

1 経緯

- 流通段階の防災品において、出荷時に求められる防災性能基準を満たしていないものが発生していることが、防災品の普及に関する報告書（（公財）日本防災協会（以下「協会」という。）作成）から判明
- 平成 25 年 12 月、消防庁は、出荷時に求められる防災性能基準を満たしていない防災カーテン等を精査し、防災性能があることが確認出来なかったものについては、製造事業者等に公表及び自主回収を指示するよう協会に指示
- 平成 26 年 2 月 3 日に協会からの報告を受け、自主回収対象となる防災カーテンの事業者名、製品名等を 2 月 5 日に公表
- 平成 26 年 1 月～7 月、消防庁及び協会等で性能確保の方策を検討

2 防災カーテンの性能確保の方策

- 防災性能の確認試験を行う製品について、その素材ごとに使用する薬液の濃度、浸漬時間等の防災性能に影響を与える項目についての詳細な仕様を届け出させ、その詳細な仕様ごとに確認試験を行うよう運用を改善 [平成 26 年 1 月 15 日 対応済み]
- 全ての仕様について実施される確認試験に加え、出荷量の多い防災カーテンについては、市場に流通する前の段階で協会が品質管理試験を実施するように改善 [平成 26 年 10 月 1 日から実施]
- 製造・防災加工処理業者が出荷前に行う自社試験の実施頻度を増やすように指導 [平成 26 年 9 月末までに対応]
- 原反の製造者等が判別できるよう、消防法で規定されている防災ラベルに加え、通し番号を印字したラベル（補助ラベル）を付すという、トレーサビリティの仕組みを創設（別紙参照） [平成 27 年度から実施]

3 回収対象カーテンの回収状況（6月末時点）

流通量 4,195m 中 2,396.5m（約 57%）を回収

事業者名	製品名	試験番号	流通量（m）	回収量（m）
揚原織物工業(株)	ポリエステル ベルベット	AO000006	253m	243.2m
		AO030218	255m	67.6m
		AO030218	250m	
		AO030218	250m	
尾張整染(株)	ラマダ	AO030251	250m	0m
川越レース(株)	3497	A2100435	2,119m	1,490m
光洋合織加工(株)	KG012	AO930435	818m [*]	595.7m

※ 前報道発表後に判明した回収すべき防災カーテン 218mを加えた流通量

※ 回収の対象となる防災カーテンに関する問い合わせ先

事業者名	電話番号
揚原織物工業(株)	0778-52-7333
尾張整染(株)	0586-72-7826
川越レース(株)	075-671-1305
光洋合織加工(株)	075-313-2101

※ 防災カーテンの性能確認等、防災品全般に関する問い合わせ先
公益財団法人日本防災協会（電話番号：03-3246-1663）

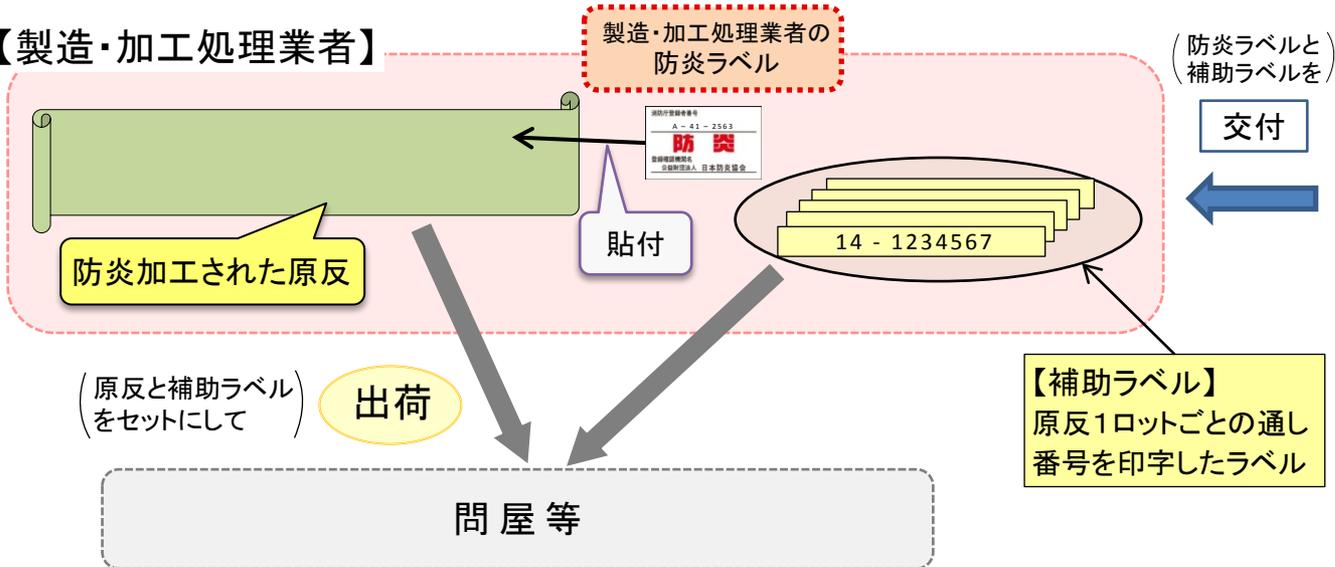
<連絡先>

消防庁予防課 福井補佐・増沢係長・大槻事務官
TEL 03-5253-7523（直通）／FAX 03-5253-7533

防災カーテンのトレーサビリティの仕組み

登録確認機関（公財）日本防災協会

【製造・加工処理業者】



【裁断・縫製業者】

